

基本の精神に基づき、社団法人として世界へ、環境へ目を向けた活動を

社団法人日本エスコフィエ協会会長 剣持恒夫

本日はご多忙の折、ご来賓の皆さま、並びに会員多数のご出席を賜り誠にありがとうございます。協会は昨年の秋に文部科学省より社団法人の認可を受けまして今日に至りましたが、皆様ご承知の様にこの12月1日より法律改正があり、社団法人、財団法人の大きな見直しがあります。当協会も新たに公益法人の資格を申請して対処すべき準備をしておりますが、骨子である目的に、変わりはありません。すなわちフランス料理普及と発展、フランス料理人の為の活動、料理長による社会貢献であります。師であるエスコフィエは、「料理は時代と共に変わるもの」と残しておりますが次世代の育成にも努めておりました。会員の皆様におかれましては若手の育成に目を向けられ、協会事業の研修留学、通信教育にぜひ、積極的に参加していただきたいと思っております。今年の日仏交流150周年の記念すべき年ではありますが、先ほど143名の新ディンプルが誕生されました。エスコフィエ後継者精神であるこの道に益々精進されますと共に、フランス料理界発展と部下の育成にご尽力していただきたいと思っております。7月には洞爺湖サミットが開催され議長国として世界各国要人の食事を提供される会員もおられると思っております。ぜひ、日ごろの成果を発揮され、おもてなしをしていただきたいと思っております。更に協会は8月に第4回フランス料理コンクールを予定しておりますが、協賛企業のご協力を得まして立派な大会になると信じております。優勝者は海外で活躍されるでしょうが、目を向けますと8月には北京オリンピックが開催されます。日本の料理界も東京オリンピックを境に大きく変わりました。フランス料理の需要も高まり、その時使われた山本直文先生のフランス料理用語辞典は得がたい味方であったはずで、こうした我々の経験からこれを中国語に翻訳してオリンピックや2010年の万博に少しでも役立ててほしいと企画され、先月出版することができました。担当理事が上海で行われた記念レセプションに参加しましたところ、大きな反響がありました。この様にフランス料理を通じて食文化の普及や広く一般の人々が意欲的に、食育の活動ができるような豊かな食生活の実現に寄与して行くつもりでおります。

さらに協会の事業を支えている収益事業につきましては、東京電力電化厨房における電化クッキングの指導、日本航空、機内食等の開発も成果を上げております。こうした中に環境問題や地球温暖化の大きなテーマにも業界挙げて対策を立てなければならぬ時が来ました。外食産業においても環境に対する貢献が求められ、7月発行予定の新しくなりました会報に詳しく載せております。どうか皆様の絶大なるご支援とご協力をお願いいたします。最後にご来賓並びに皆様の更なるご活躍とご発展を祈念いたし、私の挨拶といたします。ありがとうございました。